

福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

二十一世紀最初の年を振り返って

仏教徒として今をどう見るか

平成十三年九月十一日の同時テロ以後の世界から

二十一世紀の幕開けの年も衝撃的な年になってしまいました。米国で起きた同時多発テロの映像とその後の米軍によるアフガン侵攻の報道とに、世界中の眼が向けられ、多くの国で議論が交わされています。日本でも、憲法に関わる問題だけにいろいろと激論が交わされています。しかし三カ月が過ぎ、膠着状態が続いてくると、得意の対岸の火事的に見

はじめている自分に気がつき恐ろしく感じます。

ところで、今起きている事を仏教徒として捉えたならばどうなのか、少し考えてみようと思います。

釈尊の戦争への対応はどうであったのか。釈尊はシャカ族の王子として出生しますが、釈尊が出家した後シャカ族は隣国コーサラ国に滅ぼされてしまいます。コーサラ国の軍隊

は、釈尊の存在により三回程引き返しますが、四回目は釈尊もその侵攻を放任し、シャカ族は滅亡されてしまいます。(釈尊が放任した理由は省きます)

又、マガダ国の王が、小国を攻めるか否か釈尊の所へ相談にきた時、攻めようとしている小国が正しい政治が行われているかどうかを確認し、攻めることを止めさせたと伝えられています。

以上のことから、攻められるだけの正当な理由があれば仕方がないこと、正しい政治が行われている国への侵攻は絶対にすべきでないこと等がうかがい知れます。

しかし、釈尊が広めた仏教は、平和主義、非暴力を説いています。

他の宗教の暴力の考え方を端的に表わした次のようなことばがあります。なぐられたら、なぐりかえせ。

これは、モーゼのおしえ。なぐられても、なぐりかえすな。

これは、釈尊のおしえ。
なぐられたら、もっとなぐらせよ。これは、キリストのおしえ。
このことばかりも、仏教の非暴力主義がよく分かれると思います。

確かに「戦争は良くない。平和宣言をアピールする。怨讐を乗り越えて争いの無い世界を築こう。」といった言葉だけの宗教者談話では、現実をさけて通るごまかしでしかない。仏教徒として、あくまで非暴力の姿勢に立ち、純粹に理想実現の努力をするか、あるいは、武力による平和という現実主義を加味しながら、少しづつ理想をめざすのか、難しい問題を突きつけられているような気がする。



蓮の花は極楽の花

今年の施餓鬼会は蓮づくし

今年の夏はどういう訳か、蓮の花便りがあちらこちらから聞こえてきました。テレビでも各地の蓮が紹介されていきました。蓮の当たり年だったのでしょうか。皆さんもよく目にふれたことと思います。そして、あらためて蓮の花の美しさを感じたのではないのでしょうか。仏教では極楽浄土に咲く花として代表されますが、その他にも堂宇や仏具に裝飾されている文様はほとんどいっていいほど、蓮の花が使われています。古代インドから、蓮の花は、美しさの代表だっと思われれます。

そんな訳で、今年の施餓鬼会は蓮の花で莊嚴してみました。しかし、扱ってみて初めて、その難しさが分かりました。何しろ早朝に開き始め、数時間後には散ってしまふ。開きかけた花は少しも動かせない。ですから、当日の早朝に、開きかけのつぼみを蓮池から取ってきて、それを生ける訳です。しかし、苦勞した甲斐あって、その近寄りが見えない、まさに極楽浄土を見せてくれたように自負しています。造花と疑った方がいました。正真正銘、生花です。

和尚さんのひとりごと

1 最近四国八十八カ所を巡礼する人が増えているらしいな。それも歩いて。

6 札所巡礼は、一般の旅行とは違うと思うんだ。

7 どこが違うかって、やはり巡礼は出家の一つの形だと思ふ。世間を飛び出して旅をする、これが巡礼。

11 キリスト教徒のパレスチナ詣でや、イスラム教徒のメッカ詣では、「巡礼」ってわけか。

12 話を元にもどして、福田寺もそろそろ団参として四国遍路を取り入れたいけど、「信仰」だの「出家」だの言うて敬遠されちゃうかな。

2 どんだけ人が廻っているのかって、リストラされた人や、病気になった人や、動機は様々。

5 切羽詰まって本来の姿が示されることは、よくあることだし。

8 ところで、「巡礼」と言ったり「遍路」と言ったりするけど、どう違うのかな。

10 その代表が四国八十八カ所という訳か。なるほど。

13 やはり、慰安の要素も充分に取り入れられないかね。精神は信仰、行動は楽しみ、ってところでどうでしょう。

3 どうやら、本来の巡礼の姿にもどってきただけかな。

4 一時は慰安旅行の変わり版として、実施されたりしてたようだけど。

9 「巡礼」は信仰による聖地を旅することを一般的に言うのに対し、「遍路」は弘法大師の遺跡を慕って巡る旅のこと。

14 参加する人の判断に任せましょ。何れにしろ、あまり難しく考えず、団参の呼びかけがあったら、皆さん参加してください。

最近聞いた話

「すぐ古くなるものは何か」と問われてアリストテレスは「感謝」と答えたという。与えたことは覚えているが、受けた恩は忘れやすい。人間性へのみごとな風刺である。

ある人の人格は、その人が、仕事に失敗したとき、チャホヤされなくなったりとき、不幸におちいったとき、逆境におちいったとき、に最も明瞭となる。

くさくて、垢だらけで、自分のことしか考えていない人々の中に入って彼らと一緒に生きること。これがほんとうの愛であろう。これ以外の愛は、イミテーションにすぎない。世の愛の九九・九九パーセントは、イミテーションなのだが、それは仕方のないことである以上に、必要なことなのかもしれない。

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日 午後一時より修行

記

恒例の新年厄除け護摩を一月八日午後一時より修行致します。護摩を焚く修行は、近年いろいろな所でされていきますが、正統に受け継がれているのは密教寺院であります。福田寺は、京都・東寺を本山とする真言密教の寺で、創建以来八百六十五年、密教寺院としての歴史を刻んで参りました。

期日・・・一月八日、午後一時より
祈祷料・・・三千元
祈祷内容・・・厄難消除（厄よけ）
身体健全、病魔退散、家内安全、交通安全、商売繁盛、業運繁栄、学業成就、合格祈願、安産祈願、子授け祈願、その他
申し込み・・・一月七日まで、電話可
電話 0465（36）2755
FAX 0465（37）6688

平成十四年厄年

男性

前厄 昭和三十七年生まれ
本厄 昭和三十六年生まれ
後厄 昭和三十五年生まれ

女性

前厄 昭和四十六年生まれ
本厄 昭和四十五年生まれ
後厄 昭和四十四年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職により新年の御祈祷が修法されます。ご自由に参拜ください。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは、寺の者に連絡してください。

お経を読む会

毎月十五日

夜七時半より一時間

参加費用 一人百円

通算、九十四回になりました。次回は一月十五日です。お大師様の出家の宣言書「三教指帰」の仏教編にはいります。気軽にどうぞ